

Business Report

ECHO Vol.43
2017.4.1 -
2017.9.30



第一興商 証券コード:7458

ステークホルダーの皆様へ

TOP MESSAGE

2017年6月23日に代表取締役社長に就任致しました保志忠郊でございます。

株主の皆様におかれましては、日ごろより格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、第43期第2四半期の決算の状況についてご報告致します。

業務用カラオケ事業におきましては、安定収益の柱と位置付ける機器賃貸を中心に、カラオケ機器稼働台数の拡大に注力致しました。その結果、成長が続くエルダー市場で民間施設に加え自治体施設への導入施策が奏功し、稼働台数の増加を実現しております。また、10月にはフラッグシップモデルとなる新商品「LIVE DAM STADIUM STAGE (DAM-XG7000 II)」を発売致しました。第3四半期以降は、この新商品を中心にさらなる稼働台数の拡大に努めてまいります。

カラオケ・飲食店舗事業におきましては、店舗サービス品質の向上に注力し、人材の確保、教育の強化に努めるほか、店舗リニューアルや既存業態のブラッシュアップに取り組んでまいりました。また、6月には首都圏を中心に「カラオケマック」40店舗(2017年10月末現在)を展開する株式会社Airsideの全株式を取得し、子会社化しております。今後も引き続きサービス品質の向上に努めることにより、店舗競争力を強化し、業績の拡大を図ってまいります。

音楽ソフト事業につきましては厳しい事業環境が続いておりますが、グループ連携の強化を進め、業績回復を目指してまいります。

当社はこれまで40年以上にわたり、社是である「もっと音楽を世に もっとサービスを世に」の精神のもと、カラオケを通じて世の中に「歌う楽しさ」を提供し続けてまいりました。おかげさまでカラオケは身近なレジャーとして完全に定着し、近年では高齢者の介護予防や地域コミュニティ形成に有効なサービスとして活躍の場が広がっております。

当社はこれからもカラオケの持つ魅力と価値の向上に努め、お子様からお年寄りまですべての世代の方々に良質なサービスを提供し続けることにより、社会に貢献してまいります。

株主の皆様のご期待に応えられるよう、全社一丸となり努力してまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **保志 忠郊**



圧倒的ライブの臨場感を体感せよ!!

LIVEDAM STADIUM STAGE

専務取締役兼上席執行役員
開発本部長兼制作部・編成企画部・BGM放送部管掌

熊谷 達也 に聞く



歌いやすく、心地良く聴ける カラオケを確実に配信する

当社が創業から今日まで守り続けている基本ポリシーは「歌う方には歌いやすく、聴いている方には心地良いカラオケのコンテンツを提供する」ことです。その上で、いつでも、どんな状況でも確実に歌える環境を提供することを開発方針としています。業務用カラオケという商品の性格上、機器の故障はお客様にご迷惑をおかけするため許されませんが、万が一故障しても、カラオケだけは再生できる設計を徹底しています。

当社は、ソフトを担当する制作本部とハードを担当する開発本部が協力して通信カラオケ「DAM」シリーズを開発しています。「歌いやすく、聴く人も心地良い」を実現するため、制作本部はカラオケソフトのクオリティを重視。テロップの表示方法一つをとっても、職人技を生かして1曲ごとに丁寧に作っています。

開発本部は、制作本部が生み出したクオリティの高いカラオケソフトを忠実に再生する商品を開発し、心地良い音を提供します。

カラオケは、お客様がマイクから歌声を入力し、歌声とカラオケ音源をミックスして、アンプを通じてスピーカーから音を出力する——それだけの簡単な仕組みと思われるかもしれませんが、実は、歌声とカラオケ音源のバランスを取ることは、高度なノウハウを必要とする難しい作業です。市販の音楽CDは、歌手の方が設備の整ったスタジオで歌い、楽曲を録音し、ミキシングの専門家が時間をかけて最高の音を創り出します。これがCDとなり、スピーカーを通じて再生されるのですが、カラオケの場合はお店などでお客様がマイクを持って歌い、リアルタイムにカラオケ音源とミックスして、アンプを経由してスピーカーから流します。もし忠実に再生できず、マイクに遅延が生じたりバランスが悪かったりすると、心地良く歌うことは不可能となってしまうのです。

「DAM」は、アンプ、マイク、スピーカーを当社商品で統一してご使用いただくことで最高のパフォーマンスを発揮します。カラオケの大敵であるハウリングも起こりにくい設計となっており、「歌いやすく、聴く人も心地良い」を実現しています。

■ 新商品「LIVE DAM STADIUM STAGE」発売

10月5日に新商品「LIVE DAM STADIUM STAGE (DAM-XG7000 II)」を発売しました。

外観は高級感漂うロイヤルレッドを基調とし、アクセントにゴールドのラインを入れ、フロントパネルにイルミネーション照

明を採用しました。お客様がお店に入った瞬間に「新しいDAMが入った」ことを認識し、「歌いたい」と思っていた。このことは業務用カラオケでは重要なポイントです。

コンテンツのトピックスとして、「LIVE DAM STADIUM (DAM-XG7000)」から好評いただいている業界初のデュアルモニター機能に対応した映像コンテンツ「LIVEカラオケ」や「まま音」を大幅に増曲しています。デュアルモニターは、2つの異なる映像を同期して再生することでバラエティに富んだ映像空間を体験できます。たとえば、メインモニターではアーティストのステージパフォーマンスを、スペシャルモニターには別アングルで撮影した映像を映し出す画期的な機能です。

新しい採点機能として、「精密採点DXミリオン」が登場しました。テレビ番組でもおなじみのカラオケ採点機能「精密採点」シリーズをベースに、100点の上限を取り払い、上手に歌えた分だけ得点が加算される新しい採点コンテンツで、音楽ゲーム感覚で楽しめます。

また、新サービスとして、「DAM★ともボーカル」を開始しました。「DAM★とも」の録音機能によってサーバーにアップされたカラオケの歌唱データを活用し、「DAM」上でカラオケ演奏と同期再生し、お手本ボーカルとして提供するサービスです。お手本に採用されたお客様は、自分の歌声がDAMから流れるというステータスを感じていただくことができ、知らない歌に挑戦したいというお客様は、お手本を聴きながら練習ができる。これをきっかけに、パソコン上でお客様同士が交流できる場も作りたい。これからは、カラオケを通じた双方向のコミュニケーションが楽しめる時代になるでしょう。

常に「新しさ」を感じてもらえる商品を開発していきたい

「LIVE DAM STADIUM STAGE」では、新機能として「Bluetooth®」(近距離無線通信の規格)によるスマートフォンアプリ「デンモクmini」との連携を開始し、今後アプリ機能の充実を進めていく計画です。

今後の商品開発にあたっては、カラオケの基本である「歌いやすさ」や「使いやすさ」、コンテンツの「臨場感」を継続して追求していくことで、1人でも多くの方にカラオケを楽しんでいただけるよう努めてまいります。また、商品開発部門の使命として、お客様に常に何か「新しさ」を感じていただける商品を開発していきたいと考えています。

LIVEDAM STADIUM STAGE

ライブ空間の臨場感を演出する 「LIVE DAM STADIUM」が進化

音ゲー感覚の「精密採点DXミリオン」、
ネイティブライクな発音で歌える「Nipponglisch」を新搭載

「LIVE DAM STADIUM STAGE (DAM-XG7000II)」は、デュアルモニター機能やライブサウンド機能を搭載した新たなフラッグシップモデルです。

本体は高級感漂うロイヤルレッドを基調とし、フロントパネルにイルミネーション照明を採用することで華やかさを演出しました。映像・採点コンテンツの拡充や、学術的理論と科学的データに基づいた新しい英語発音表記システム「Nipponglisch」(ニッポングリッシュ)をカラオケに初めて搭載し、歌う空間をより豊かにします。



3つの体感で、歌う楽しさが感動に変わる！

映像

ライブの臨場感を体感！ 新感覚「デュアル映像」

本体から2つの異なる映像を出力する画期的なデュアルモニター機能を搭載。メイン映像とスペシャル映像による多彩な演出により、熱気と興奮に包まれたライブシーンの感動をリアルに呼び起こします。



迫力の立体音響を体感！ 高品質「ライブサウンド」

立体的で奥行きのあるハイクオリティーなライブサウンド機能が、ライブならではの躍動感&迫りに満ちた音を再現。カラオケユーザーが心地良く歌える音環境で、その空間ならではの感動のステージを演出します。

サウンド

リピート必至の面白さを体感！ エンタメ性抜群のコンテンツ

音楽ゲーム感覚で楽しめる「精密採点DXミリオン」や、DAM★とも会員の歌唱データをカラオケのお手本ボーカルとして再生する新しいサービス「DAM★ともボーカル」、カタカナのルビを読むだけで、ネイティブライクな英語の発音で歌うことができる「Nipponglisch」、気軽にカラオケ大会を開催できる「みんなで歌合戦」など、カラオケをさらに盛り上げるエンターテインメントコンテンツが満載。



▲精密採点DXミリオン



▲DAM★ともボーカル

アミューズメント

アイム ネバラー レット ユー ゴー
I'll never let you go.

▲通常の洋楽曲のテロップ

アウ ネバ レッチュ ゴー
I'll never let you go.

▲Nipponglischのテロップ

「カラオケマック」を40店舗展開する 株式会社Airsideを子会社化

当社は、2017年6月1日に株式会社Airsideの全株式を取得し、子会社化致しました。
株式会社Airsideは首都圏を中心に「カラオケマック」40店舗（2017年10月末現在）をチェーン展開しております。同社を子会社化することにより、当社カラオケボックス事業の業容拡大と相乗効果による事業基盤の強化が期待できるものと考えております。



パーティークース/
にぎやかワイワイコース

ビッグエコー グランドメニュー／パーティークースを リニューアル

ビッグエコーでは、10月よりグランドメニューとパーティークースをリニューアルしました。
グランドメニューは、おつまみメニューの充実を図り、特にタパスメニューは和と洋に分け、お客様が選ぶ楽しみを提供し、手軽に注文していただける構成としました。また、デザートメニューの強化として、当社飲食店舗「銀座珈琲店」監修によるオリジナルパンケーキをプライベートブランドとして導入しました。
パーティークースは、王道である「ダブルメインの厳選コース」、「肉盛りボリュームコース」の2コースについてメニューのブラッシュアップを図りました。また新たに、手巻き寿司や自分でデコレーションできるパンケーキがメニューに入った「にぎやかワイワイコース」を導入しました。
当社は、これからもお客様にわくわく感を感じていただき、さらに満足いただけるメニューの開発を行ってまいります。ビッグエコーをご利用の際はぜひご賞味ください。

カラオケルームを仕事部屋に ビジネスプランが拡大

ビッグエコーでは、働き方改革・生産性向上に向けた取り組みの一環として、4月よりカラオケルームをワークスペースとして提供する「ビジネスプラン」を新たに開始しました。ビジネス利用としての利便性が高く、「首都圏以外でも利用したい」というお客様からのご要望もあることから、9月より導入店舗を全国の主要ビジネスエリア（札幌、仙台、名古屋、京都、大阪、神戸、岡山、広島、福岡）に拡大しました。

ビッグエコーは、駅に近くアクセスしやすい店舗が多く、仕事の電話や機密書類の取り扱いなどが周りを気にせずに行える点で、「カラオケ＝個室」というメリットを生かせると考えております。

今後もカラオケルームの新たなご利用方法の提案、需要の掘り起こしにより、収益向上を目指してまいります。



DKエルダーシステム、自治体への導入が拡大 高齢者の健康寿命延伸とコミュニティの創出を支援

自治体が主体となり、要支援者を含む高齢者支援に取り組む「介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）」が2018年度より始まります。先進的な自治体は本始動を前にすでに積極的に取り組んでおり、当社の生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」を活用した事業提案は、多くの自治体に採用されています。

一例として、京都府宇治市では2017年4月から2018年3月まで、一般介護予防事業「健康倶楽部まるとトレーニング教室」を受託。自宅でも継続できる内容を中心に、市内12カ所計264回にわたる音楽健康セッションを行っています。

また、東京都中野区では、2017年6月より「音響機器を活用した介護予防事業」を受託。短期集中予防サービス4カ所と一般高齢者向け「ワイワイカラオケ体操プログラム」16カ所に「DKエルダーシステム」を導入し、音楽健康セッションを実施しています。

当社は、これからもエルダー事業を通じて、高齢者の介護予防や健康増進に取り組むとともに、地域住民の生きがいの場を広げ、コミュニティの創出と活性化を図ります。



「健康倶楽部まるとトレーニング教室」の様子



DKエルダーシステム推奨機
FREE DAM HD

「DKエルダーシステム」とは

音楽を使う、体を使う、目で観るといったプログラムの提供を通じて、高齢者の心と体を元気にすることができ、「運動・口腔・認知」など、総合的な生活機能の維持・向上の効果が認められています。2017年10月末現在、全国各地の22,000カ所以上の高齢者施設や自治体関連施設などに導入されています。

科目	2016/3		2017/3		2018/3	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
経営成績(百万円)						
売上高	70,362	141,310	68,821	140,640	69,022	141,200
営業利益	9,910	19,886	9,739	20,694	10,776	20,800
営業利益率(%)	14.1	14.1	14.2	14.7	15.6	—
経常利益	10,727	21,127	10,012	22,539	11,474	21,300
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	6,467	12,599	4,203	11,115	7,373	13,100
財務状況(百万円)						
総資産	177,631	179,641	182,659	186,954	186,845	—
純資産	109,692	112,754	115,858	119,069	122,527	—
キャッシュ・フロー(百万円)						
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,472	27,100	14,811	33,076	14,296	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,320	△27,434	△8,667	△16,331	△13,951	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,100	△7,299	△3,569	△8,546	△7,911	—
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	53,011	52,247	54,426	61,254	53,941	—
1株当たりデータ(円)						
1株当たり四半期(当期)純利益	111.85	218.25	72.98	193.53	129.16	229.95
1株当たり純資産	1,881.43	1,933.03	1,992.46	2,057.98	2,124.49	—
1株当たり配当金(中間/期末)	54.00	54.00	54.00	55.00	55.00	55.00
主要経営指標(%)						
総資産経常利益率(ROA)	—	11.7	—	12.3	—	—
自己資本当期純利益率(ROE)	—	11.4	—	9.7	—	—
自己資本比率	61.0	62.0	62.6	62.9	64.8	—
配当性向	—	49.5	—	56.3	—	47.8

売上高(単位:百万円)



営業利益(単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(単位:百万円)



セグメント別概況



売上高 32,107 百万円
営業利益 7,888 百万円



- 機器賃貸を中心にカラオケ機器稼働台数の増加に注力。
- エルダー市場での導入施策が奏功し、稼働台数の増加を実現。
- 新商品発売前の買い控えの影響もあり減収となるも、機器賃貸収入及び情報提供料収入の増加と、昨年発生した「平成28年熊本地震」に伴う一時費用等が減少したことにより増益。



売上高 28,907 百万円
営業利益 3,566 百万円



- 店舗サービス品質の向上に注力し、人材の確保、教育の強化に努めるほか、店舗リニューアルや既存業態のブラッシュアップなどに取り組む。
- 既存店が好調に推移したことに加え、子会社化した株式会社 Airsideの収益が寄与したことにより、増収増益。



売上高 4,022 百万円
営業利益 △3 百万円



- 業務用通信カラオケ事業をはじめとしたグループネットワークの活用、連携強化による相乗効果と業務の効率化に注力。
- 積極的に新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるも、事業環境は依然厳しい状況で推移し、減収減益。



売上高 3,984 百万円
営業利益 784 百万円



- BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターラジオ光」とコンシューマー向けストリーミングカラオケサービスの拡販に努める。
- 不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移し、増収増益。

J-POP

半崎美子



2017年4月のデビュー以降「ショッピングモールの歌姫」として多くのメディアで紹介され、一躍「時の人」となった半崎美子。聴き手の気持ちに寄り添った歌詞と優しく包み込むような歌声が、日本の音楽シーンに新たな風を吹き込んでいます。

8月には、デビューミニアルバム「うた弁」を台湾でもリリース。台湾のショッピングモールでミニライブを開催し、集まった多くの人の涙を誘いました。海外にも活動の幅を広げた半崎美子の勢いは止まりません。



J-POP

真心ブラザーズ



1989年大学在学中、同じ音楽サークルに所属するYO-KINGと後輩桜井秀俊で結成。バラエティ番組内「フォークソング合戦」にて見事10週連続を勝ち抜き、メジャーデビュー。「どか〜ん」、「サマーヌード」、「拜啓、ジョン・レノン」など数々の名曲を世に送り出しています。

2017年9月に通算15作目のオリジナルアルバム、「FLOW ON THE CLOUD」をリリース。10月からは、全国18公演にわたるライブツアーを開催。



会社情報

CORPORATE INFORMATION (2017年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,829名 グループ 3,462名
主な事業内容	業務用カラオケ事業、カラオケ・飲食店舗事業、音楽ソフト事業、その他の事業
連結子会社	国内販売子会社23社、その他国内子会社10社、その他海外子会社3社

株式状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	57,234,200株
株主数	14,481名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
保志 忠郊	6,246	10.91
保志 治紀	6,119	10.69
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	3,201	5.59
JP MORGAN CHASE BANK 380072	2,787	4.87
(株)ホシ・クリエート	2,449	4.28

※ 持株比率は自己株式266,168株を控除して計算しております。

役員

代表取締役社長	保志 忠郊	取締役(非常勤)	馬場 勝彦
専務取締役兼上席執行役員	根本 賢一	取締役(社外)	古田 敦也
専務取締役兼上席執行役員	和田 康孝	取締役(社外)	増田 千佳
専務取締役兼上席執行役員	熊谷 達也	監査役(社外常勤)	鶴岡 通敏
専務取締役兼上席執行役員	三富 洋	監査役(社外常勤)	大塚 信明
専務取締役兼上席執行役員	村井 裕一	監査役(常勤)	高瀬 信行
取締役兼上席執行役員	渡邊 泰人	監査役(社外)	有近 真澄
取締役兼上席執行役員	竹花 則幸		
取締役兼上席執行役員	大塚 賢治		

所有者別株式分布



株主優待のお知らせ

2017年9月30日現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈致します。

所有株式数	年2回発行	
	優待券 ^{※1}	CD交換 ^{※2}
100株以上 1,000株未満	500円券×10枚	1枚
1,000株以上	500円券×25枚	2枚

※1 当社グループが運営するカラオケルーム「ビッグエコー」や「カラオケマック」、[録音]、[ウメ子の家]、[びすとら]などの飲食店などでご利用いただけます。
※2 優待券全額と引換換えを条件に、アルバムCDと交換いたします。

贈呈時期 2017年12月5日より送付開始
有効期間 2018年1月1日～2018年6月30日

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
剰余金の配当受領株主確定日	期末配当金については3月31日 中間配当金については9月30日
単元株式数	100株

公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話：0120-232-711 (通話料無料) 郵送先： 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (電話照会先 郵便物送付先)	